



機能評価の現状

白石区支部 小野 修

医療機関の機能評価が動きだした。

昨年7月、医療機能の学術的・中立的評価と、医療機関が抱える諸問題の改善の支援を主要事業とし、さらには医療の質の向上と信頼の確保を目的として、その名も「日本医療機能評価機構」なる名称で財団法人が設立された。

今回、その財団主催の講演会に出席する機会を得たので概要を報告する。

一つは医療評価の概念に関するものであり、今一つは財団理事でもある大道久日大教授の講演であった。ここでは大道教授が述べられた機構の現況に就いて要約する。

何故、機能評価か

社会の運営をより合理的に、納得の行く方法で行う事を求める時代の要請を背景として、医療を受ける側からの医療の質や適切さに対する関心が高まっている。

元来わが国では事の是非を明確にして評価する事を好まぬ風潮が存在し、医療の評価についても充分に取り組みれてこなかったとされている。しかし、医療人が適切な医療を提供するために自律的な努力を続け、需要者側の信頼を勝ち得て来た実績は軽んじられるべきではない。

医療の評価はその質の向上の為に実施されるものであり、結局は自律的な努力によって為されるものである。この事から第三者による評価事業が行われても、自己評価の意義が薄れるものではなく、むしろその必要性をまして来る。

第三者による評価の利点は一定の客観性を期待できる事であるが、限られた時間の中での視察、定められた様式の書面だけでは全ての把握に限界がある。

重要なことは、それを手がかりとした真の自己評価によって問題を解決しようとする意欲や、

解決に向けた取り組みであり、それこそが評価されるべきである。

評価の方法

現在、有効で的確な評価方法を確立するために、病床の規模や地域、あるいは開設者の観点から、あらかじめ準備した評価の体系を運用する運用評価が進行中である。

すでに一般病院A（地域密着型、中小病院）が40余、一般病院B（高度、高次、専門病院）が約60、それぞれ書面審査を終了し、順次訪問審査を実施している。引き続き精神病院に書面審査が開始されることになっている。

平成8年度中には本稼働に向けた評価体系の作成を終了する。

評価は書面の審査→訪問審査と流れるが、書面審査の内容は病院機能現況調査と自己評価調査からなり、現況調査は施設基本票・部門別調査票・診療機能調査票・経営調査票などである。

運用調査は評価調査者（サーベイヤー）が、診療・看護・事務管理の担当者各々2人の6人体制で、領域を分担して訪問審査を実施している。また各々1人の3人が分担せず、共同で訪問審査する方式も検討されている。

サーベイヤーは病院団体等の推薦を受け、モデル病院に於けるシュミレーション演習を含む前後5日間の養成研修を受けた。病院管理者としての現任の方々が多く、約140名の人員と当初からの経験者や研究者による約30名のコア・サーベイヤーと共に訪問審査に従事している。

前日の打ち合わせ、訪問当日・翌日の会議、判定と前後3日の日程を要している。

書面審査に於ける調査票の作成と、自己評価票の点検・評価の作業は、自らの病院が提供している医療の問題点の認識と、その改善・解決

への取り組みの重要な機会となると考えられる。書面審査の書類の作成の過程で明らかになった諸問題について、可能な範囲であらかじめ改善しておけば、評価の結果は良くなる事が期待される。書面審査は、病院にとっても問題の改善

のための重要な機会となる。

医療に於ける諸問題を解決するには、国民・住民の理解を得て、医療に投入されるべき資源を拡大する必要がある。評価は実状を知って貰うためにも大きな役割を果たす。(長野病院)

— <日本緩和医療学会第1回学術集会のご案内> —

この度、がん患者の全過程を対象としたQOL尊重の医学、医療であるPalliative Medicineの専門的發展のための学際的かつ学術的研究を促進し、その結果を広く医学教育と臨床医学に反映させることを目的とする、日本緩和医療学会が発足し、その第1回学術集会を下記のとおり開催いたします。

会員以外の方も是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時 平成8年7月25日(木)~26日(金)

場所 札幌医科大学講堂

(札幌市中央区南1条西16丁目)

参加費 3,000円

プログラム (一部)

7月25日(木)

基調講演 (11:00~)

「パリアティブ・メディシンの構築に向けて」

大阪大学人間科学部 柏木 哲夫

特別講演 (13:30~)

「がん診療の現状」

国立がんセンター 阿部 薫

7月26日(金)

招待講演 (11:00~)

「Opioid Therapy for Cancer Pain: Principles and Practice」

Memorial Sloan - Kettering Cancer Center Russell K. Portenoy, M.D.

申し込み・問い合わせ先

事務局：東札幌病院 担当 高橋，大川

札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

☎011-812-2311 FAX011-823-9552